

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1 部全学年 2 部全学年	聖徳教育Ⅱ（行事体験）	川並 順 他	
サブタイトル	行事体験を通した実践と豊かな教養	単 位 数	1
授業形態	演習		
開講時期	1 部 2 年間 2 部 3 年間	出席要件	
到 達 目 標			
本科目の目的は、本校の建学の精神「和」の意義を知り、保育者としての豊かな人間性を高めることにある。そのために、以下の目標に沿って行う。 1. 国内外で活躍している芸術家による「本物」の芸術の鑑賞をすることを通して、幅広く深い教養を身につけ、豊かな感性を養うこと。 2. 幼稚園との合同活動を通して、「子どもの発達・成長」を体験的に学び、学業の素地となるようにすること。また、多様な共同活動をする中で互いに高め合う機会とすること。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
本科目はディプロマ・ポリシーにおいて「①幼児教育に対する情熱や責任感を身につけること」「②専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけること」及び「③多様な協同学習を通して、豊かな人間性を身につけること」を目標としている。			
授 業 の 方 法			
1. シリーズコンサートに参加する。川並記念講堂にて国内外のアーティストによる音楽や演技を体験し、豊かな感性と表現力を養う。 2. 幼稚園と合同開催の運動会に参加する。運動会の運営や子どもの指導に携わり、行事・運動会における保育者の役割等を体験的に学ぶ。 3. 幼稚園の「にこにこ祭り」と合同開催の文化祭・児童文化研究発表会に参加する。活動の企画・準備・運営等、活動体験を通して行事等の準備や子どもとの関わりを実践的に学ぶ。 4. 聖徳フレンドシップデイ(SFD)に参加する。クラス交流や異学年交流を通して協同体験を学ぶ。			
テキスト・教材・参考図書			
シリーズコンサートの資料は当日、配付する。 運動会および文化祭については、必要に応じて資料を配付する。			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
卒業までに上記の全ての行事に参加し、レポートを提出する。		認定評価とする。	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
シリーズコンサートへの参加はフォーマルスーツを着用すること。 その他の行事の際の服装は、「学生便覧」の記載に則ること。			

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1 部 1, 2 年 2 部 1, 2 年	聖徳教育Ⅱ（研修）	川並 順 他	
サブタイトル	研修体験を通した「和」の実践	単 位 数	1
授業形態	演習		
開講時期	1 年次及び 2 年次	出席要件	
到 達 目 標			
本科目の目的は、本校の建学の精神「和」の意義を深く理解し、保育者としての豊かな人間性を高めることにある。そのために、以下の目標に沿って行う。 1. 学外研修Ⅰ、学外研修Ⅱに参加する中で、教養、感性、価値観を広げ、信頼関係を築く。 2. 学外活動に参加する中で、場に応じた行動や判断力・自己責任能力を身につけ、新しい価値を創造するための学びを得る。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
本科目はディプロマ・ポリシーにおいて「①幼児教育に対する情熱や責任感を身につけること」及び「③多様な協同学習を通して、豊かな人間性を身につけること」を目標としている。			
授 業 の 方 法			
1. 学外研修Ⅰ（長野）に参加する。集団生活の中で、社会人としての規則正しい団体生活を理解し、自制心を養い、他人に対する思いやりの気持ちを涵養する。クラス、同学年、教職員との親睦を深め、信頼関係を作り上げる。 2. 学外研修Ⅱ（北海道）に参加する。大自然と歴史・文化に直接触れることにより、豊かな教養、感性、価値観、視野を広げ、また様々な人たちとのふれあいを通して、信頼関係を築き、社会人としてのマナーを身につける。宿泊ホテルでは食事のマナーを実践的に学ぶ。			
テキスト・教材・参考図書			
学外研修のしおり、マナー読本 その他資料を配付する。			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
学外研修Ⅰおよび学外研修Ⅱに参加し、レポートを提出する。		認定評価とする。	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
学外研修中は教職員および生活委員の指示に従い、体調管理、安全面に気を配り、集合時間等の決まりを守るよう心がけること。			